

報道各社御中 ← 環境省広報室

釧路自然環境事務所・北海道
同時発表

北海道の国指定厚岸・別寒辺牛・霧多布鳥獣保護区及びその周辺
における高病原性鳥インフルエンザウイルス・強毒タイプの確認について
(情報提供)

以下に現時点における情報を提供します。

本日、北海道の国指定厚岸・別寒辺牛・霧多布鳥獣保護区（北海道浜中町火散布、1月23日に公表したオオハクチョウ他の回収地周辺の場所）において回収された野鳥1羽について、詳細検査の結果が判明し、高病原性鳥インフルエンザウイルス・強毒タイプが確認されたとの報告が北海道大学からありました。経緯等は以下の通りです。

○オオハクチョウ1羽(3日回収。簡易検査陽性。北海道大学へ移送、詳細検査)について、H5N1亜型・強毒タイプと判明。

環境省は、関係府省、北海道等と連携して、レベル3の取組を引き続き推進してまいります。

【取材について】

○現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いします。

平成23年2月8日（火）

自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

直通：03-5521-8285

代表：03-3581-3351

室長：宮澤 俊輔（内線6470）

室長補佐：山本 麻衣（内線6471）

専門官：福嶋 貢史（内線6474）

担当：千葉 康人（内線6473）

（釧路自然環境事務所 0154-32-7500）